

水噴霧消火設備試験結果報告書											
試験実施日 年 月 日											
試験実施者											
住 所											
氏 名											
用 途	() 項				構 造						
延べ面積	m ²				階 数	地上	階	地階	階		
試 験 項 目					種 別 ・ 容 量 等 の 内 容			結果			
外 観 試 験	水	源	水源の種類・構造		—————						
			水 量		m ³ (縦 m横 m有効深さ m)						
			吸水障害防止措置		有 ・ 無						
			給 水 装 置		—————						
			耐 震 措 置		有 ・ 無						
	加 圧 送 水 装 置	ポンプを用いるもの	設 置 場 所								
			ポンプの仕様	製造者名			定格吐出量 L/min				
							定格全揚程 m				
				型式			製造番号				
			電動機の仕様	製造者名			種別 型電動機				
							定格電圧 V				
				型式			定格電流 A				
			製造番号			出力 kVA					
			ポンプ・電動機	設 置 状 況		—————					
				接 地 工 事		種接地					
				配 線		—————					
				潤 滑 油		—————					
			水温上昇防止のための逃し装置	配 管 ・ バ ル ブ 類		管の呼び A					
オ リ フ ィ ス 等		流過口径 mm									
ブースターポンプに設ける逃し配管・逃し装置		逃し配管の高さ m									
		逃し装置の設定圧力 MPa									
性能試験装置の配管・バルブ類					—————						

試 験 項 目					種別・容量等の内容	結果		
外 観 試 験	加 圧 送 水 装 置	ポ ン プ を 用 い る も の 装 置	呼 水 装 置	材 質	鋼板製・合成樹脂製			
				水 量	L			
				溢 水 用 排 水 管	管の呼び	A		
				呼 水 管	管の呼び	A		
				補 給 水 管	管の呼び	A		
				減 水 警 報 装 置	フロートスイッチ・電極			
			制 御 装 置	設 置 場 所				
				制 御 盤	――			
				予 備 品 等	――			
				接 地 工 事	種接地			
			圧力計・連成計	設 置 位 置	――			
				性 能	級			
			減 圧 措 置		有 ・ 無			
			起 動 装 置	直 接 操 作 部				
		起動用水圧 開閉装置			起動用圧力タンク	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器		
					タ ン ク の 容 量	L		
		配 管 ・ バ ル ブ 類		管の呼び	A			
				自 動 式 起動装置	閉鎖型スプリンクラーヘッド	――		
		自 動 火 災 感 知 装 置			――			
		手 動 式 起動装置		設 置 場 所 等	――			
				設 置 高 さ	床面からの高さ	m		
				構 造	――			
				表 示	――			
		流 水 検 知 装 置						
		高架水槽を用い るもの	構 造					
			内 容 積 ・ 落 差		m ³ m			
			配 管 ・ バ ル ブ 類		――			
			水 位 計		――			
		圧力水槽を用い るもの	種 類 ・ 構 造		第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器			
			内 容 積 ・ 有 効 圧 力		m ³ MPa			
			自 動 加 圧 装 置		有 ・ 無			
			配 管 ・ バ ル ブ 類		――			
			水 位 計 ・ 圧 力 計		――			
		耐 震 措 置		有 ・ 無				

試験項目				種別・容量等の内容				結果
外観試験	配管・バルブ類	設 置 状 況						
		機 器	配 管	_____				
			バ ル ブ 類	_____				
			吸 水 管	_____				
			フ ー ト 弁	_____				
		防 食 措 置		有 ・ 無				
		耐 震 措 置		有 ・ 無				
	電 源	常 用 電 源		V				
		非 常 電 源 の 種 類		専用受電・自家発電・蓄電池・燃料電池				
	放 射 区 域 の 数 及 び 設 置 状 況		階					—
			放 射 区 域 の 数					—
			設 置 状 況					
	噴射ヘッド	設置方法	配 置 等	_____				
			配 管 へ の 取 付	_____				
機 器		噴 射 ヘ ッ ド	_____					
		自 動 火 災 感 知 装 置	_____					
制 御 弁			設 置 場 所 等	_____				
			設 置 高 さ	床面からの高さ m				
			構 造	_____				
			表 示	_____				
流 水 検 知 装 置 ・ 圧 力 検 知 装 置			設 置 場 所 等	_____				
			種 別 ・ 口 径	_____				
			減 圧 警 報	_____				
			構 造 ・ 性 能	_____				
一 斉 開 放 弁	起動操作部	設 置 場 所 等	_____					
		設 置 高 さ	床面からの高さ m					
			作 動 試 験 装 置	_____				
			構 造 ・ 性 能	_____				

試 験 項 目				種別・容量等の内容	結果				
外 観 試 験	自 動 警 報 装 置		音 響 警 報 装 置	―――					
			火 災 表 示 装 置	―――					
	排水設備	床 面 の 勾 配		―――					
		排 水 溝 ・ 集 水 管		―――					
		消火ピット	構 造	―――					
			設 置 位 置	―――					
区 画 境 界 堤 の 高 さ		床面からの高さ	cm						
機 能 試 験	加 圧 送 水 装 置 試 験	ポ ン プ を 用 い る も の	呼 水 装 置 作 動 試 験	減水警報装置作動状況	底面からの高さ	cm			
				自動給水装置作動状況	―――				
				呼水槽からの水の補給状況	―――				
			制 御 装 置 試 験	起動・停止操作時の状況等		―――			
				電源切替時の運転状況		―――			
			起 動 装 置 試 験	ポンプの起動状況等		―――			
				起動用水圧開閉装置の 作 動 圧 力		設定圧力 MPa 作動圧力 MPa			
			ポンプ試験	運 転 状 況		―――			
				※締切り運転 時の状況	締切揚程	m			
					電 圧	V			
					電 流	A			
				※定格負荷運 転時の状況	定格揚程	m			
					電 圧	V			
			電 流		A				
			※ 水 温 上 昇 防 止 装 置 試 験		逃し水量	L/min			
			※ ポ ン プ 性 能 試 験 装 置 試 験		表示値の差	L			
			高架水槽を 用いるもの	作動試験	給水装置作動状況	―――			
				静 水 圧 測 定		最下位 MPa 最上位 MPa			
			圧力水槽を 用いるもの	作動試験	給水装置作動状況	―――			
					自動加圧装置作動 状 況	―――			
				静 水 圧 測 定		最下位 最上位	MPa MPa		
			配 管 耐 圧 試 験				試験圧力	MPa	
			手 動 式 起 動 装 置 試 験				―――		
			流 水 検 知 装 置 ・ 表 示 等				―――		

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。

3 ※印の試験は、「加圧送水装置の基準」（平成 9 年消防庁告示第 8 号）に適合している旨の表示が付されているものにあつては、省略することができる。

4 結果の欄には、良否を記入すること。

5 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。

6 総合操作盤が設けられているものにあつては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。